

平成 23 年度臨床教育看護師育成プログラム

I. 臨床看護師育成プログラムの目的

臨床教育看護師に期待する能力を強化する。

II. 臨床教育看護師が期待される能力とは

- ・看護観・倫理観・専門的知識に基づいて的確に判断し、熟練した看護技術を提供できる。
- ・教育的視点を持って看護スタッフとかかわることができる。
- ・看護実践を通して役割モデルを看護スタッフに示し、看護の魅力を伝えることができる。

III. 教育プログラム

臨床教育看護師に期待する能力を強化するために、二つの学習プログラムを設定する。

1. 自身の看護実践の質向上のために、看護する思考能力を高めるためのプログラム
2. 部署全体の看護の質向上に向けて、学びを支援する方法を理解するためのプログラム

1. 自身の看護実践の質向上のために、看護する思考能力を高めるためのプログラム

到達目標	1) 看護の質とは何かを、プログラムの受講を通してそれぞれが検討する。 2) 自己の実践を分析し、人間観、健康観、環境観とともに看護観を概念化する。 3) 看護実践場面を振り返りながら、看護の意味や価値を見出し、次の看護実践につなげる方法を習得する。	
	課題	内容
8回	自己の実践を分析し、人間観、健康観、環境観、看護観の概念化する。	ガイダンス：この単元の目標と学習概要の説明 (1) 対話：テーマ「看護師がやっていることは皆、看護か」 講義：実践における看護理論の活用 (2) 事例報告：テーマ「私のこだわりの看護実践」 (3) 事例検討：事例をもとに、各自が看護の何大切にしているかを、対話を通して分析し、自身の「私のこだわりの看護実践」を明確化する。 (4) 発表／対話：明確化した各自の大切にしている部分を分析し、なぜ、大切にしているのか、それは看護実践においてどういう意味あるいは価値をもつのか、対話を通して、それぞれの認知フレームを変更していく。そのプロセスで、各自が、その大切にしている部分の根底にある、自身の人間観、健康観、環境観、看護観を見出し、それを概念化していく。 (5) 発表／対話：それぞれの概念化を通して、看護の質とは何かを検討する。 講義：医療の質評価、看護の質評価

15回	看護実践場面を振り返りながら、看護の意味や価値を見出し、次の看護実践につなげる方法を習得する。	<p>(1) ガイダンス／講義：よりよい看護実践に向けて要請される「リフレクション」とは何か</p> <p>(2) 倫理的思考、批判的思考、専門的知識（病態生理、看護診断、対象理解、看護過程、看護技術など）を、リフレクションによる事例検討を通して学ぶ。</p> <p>倫理的問題のある事例・看護実践の場面の事例→2事例を提出 看護学科教員による講義：看護の専門性と看護技術 講義：看護過程／ケアリング／自己と他者／倫理的思考／批判的思考</p> <p>(3) 発表／対話：それぞれの事例検討にあたり、看護の質とは何かを検討する。</p>
-----	---	--

2. 部署全体の看護の質向上に向けて、学びを支援する方法を理解するためのプログラム

到達目標	<p>1) 看護の質とは何かを、プログラム全部の受講を通して個人が検討する。</p> <p>2) 成人の学びとは、成人の学びをサポートするとは何か、理解する。</p> <p>3) 職場における看護師の学びのサポート体制を知る。</p> <p>4) 部署の看護師の学びをサポートするという視点で、自部署の質向上のための計画を立案する。</p>	
回数	課題	内容
7回	成人の学びとは、成人の学びをサポートするとは何か、理解する。職場における看護師の学びのサポート体制を知る。	<p>(1) 教育学専門家による講義：教育、成人教育、教育評価、対象者理解、対象者の立場に立ったサポート</p> <p>(2) 看護学科教員による講義：看護師養成教育の現状と課題、看護教育カリキュラムについて、看護継続教育の意義について</p>
14回	部署の看護師をサポートするという視点で、自部署の質向上のための計画を立案する。	<p>(1) 対話：部署全体の看護の質について 個人が実践する看護の質と部署全体の看護の質とを比較しながら、部署全体の看護の質について検討する。</p> <p>(2) 院内留学（他部署で1日勤務をする）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内留学前 課題の提示：自部署の看護の質について考えるために、課題を明確にする。 ・院内留学後 発表／対話：事前に出した自身の課題に、院内留学で体験したことを踏まえて、それぞれが応答する。 →その後、留学後の課題への応答をまとめ、その内容をもとに部署の担当者に提出する。 <p>(3) 個人ワーク／グループワーク：部署の看護師をサポートする視点で、部署全体の看護の質向上のための計画を立案する。</p> <p>(4) 発表／対話：それぞれが立案した計画を、対話を通して洗練させる。</p>